

情報連絡員報告総括表 (令和6年9月分)

三重県中小企業団体中央会
連絡員総数 40名
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向 (前年同月比)	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	増加	不変	減少	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品		4		4		1	3			4		3	1			1	3		1	3				4		
	繊維工業		2	1		2	1	2		3								3			2	1			2	1	
	木材・木製品			1		1		1			1			1				1				1				1	
	紙・紙加工品	1			2		2			2				2				2			1	1			2		
	印刷		1		1		1			1				1				1			1				1		
	化学・ゴム																										
	窯業・土石製品	1			3		1	2			3			3				3							3		
	鉄鋼・金属		2	1		1		1			1							1								1	
	一般機器		2	1		2	1	2	1		2	1		2	1			2	1		1	2			2	1	
	電気機器			1		1		1			1			1				1				1				1	
輸送機器			1		1		1			1			1				1				1				1		
その他																											
小計	2	12	6	2	16	2	7	13		18	2	1	14	5		18	2	1	14	5	2	16	2		15	5	
非製造業	卸売業	1	1		2		1	1			2		1	1			2					2			2		
	小売業		5	1	5	1	3	3		5	1		4	2		4	2					6			4	2	
	商店街	1			1		1			1			1			1						1			1		
	サービス業		3	1			2	2		4			3	1		3	1					3	1		3	1	
	建設業		3	1			1	3		3	1		3	1		3	1					3	1		2	2	
	運送業		1				1			1			1			1						1			1		
	その他	1	1				1	1		1	1		1			2						2			1	1	
	小計	3	14	3	1	7	1	10	10		1	17	2	2	13	5	16	4				18	2		2	13	5
	合計	5	26	9	3	23	3	17	23		1	35	4	3	27	10	34	6	1	14	5	2	34	4	2	28	10

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

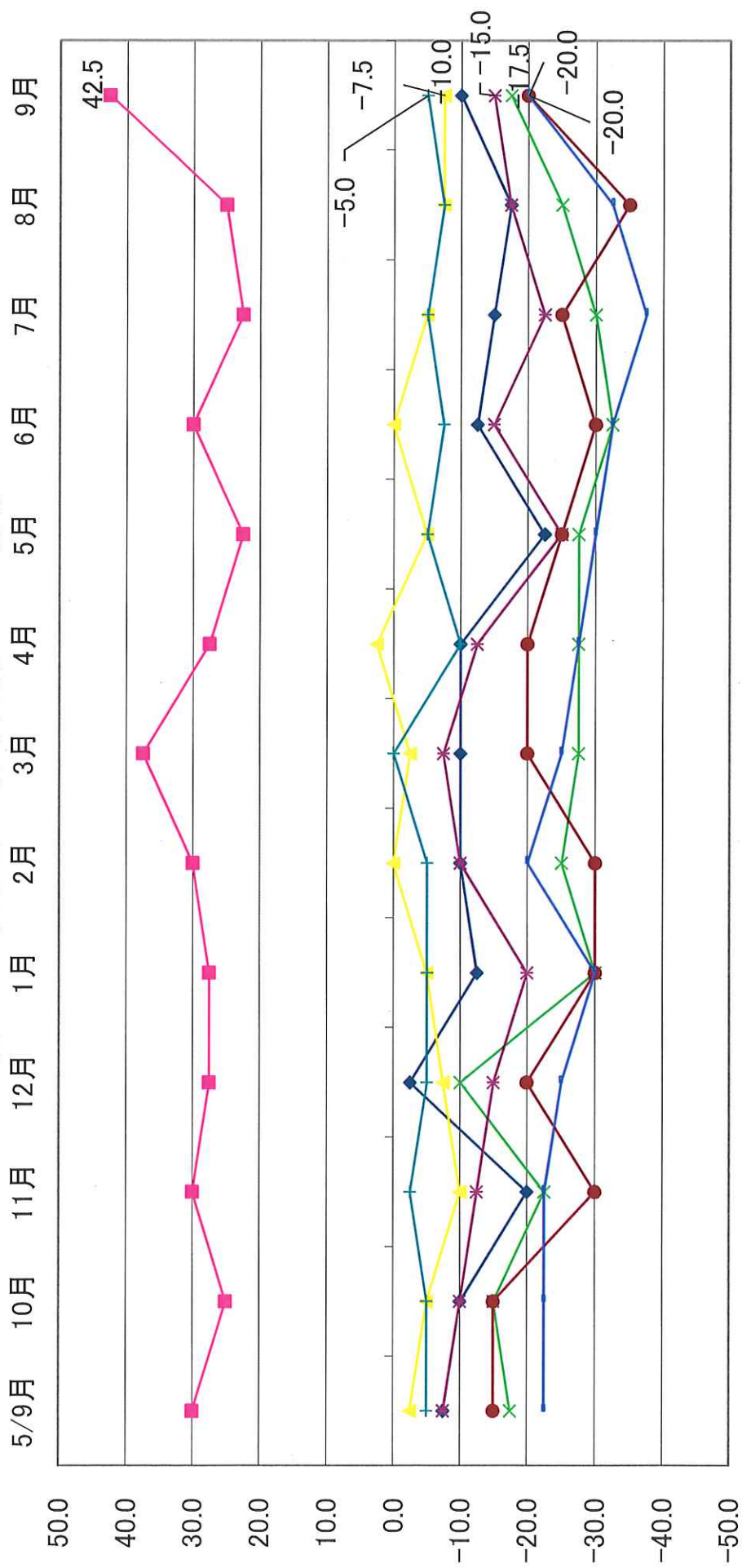
(令和5年9月～令和6年9月)

三重県中小企業団体中央会

	連絡員総数 40名												増減	
	5/9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		9月
売上高	-7.5	-10.0	-20.0	-2.5	-12.5	-10.0	-10.0	-10.0	-22.5	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	7.5
販売価格	30.0	25.0	30.0	27.5	27.5	30.0	37.5	27.5	22.5	30.0	22.5	25.0	42.5	17.5
取引条件	-2.5	-5.0	-10.0	-7.5	-5.0	0.0	-2.5	2.5	-5.0	0.0	-5.0	-7.5	-7.5	0.0
収益状況	-17.5	-15.0	-22.5	-10.0	-30.0	-25.0	-27.5	-27.5	-27.5	-32.5	-30.0	-25.0	-17.5	7.5
資金繰り	-7.5	-10.0	-12.5	-15.0	-20.0	-10.0	-7.5	-12.5	-25.0	-15.0	-22.5	-17.5	-15.0	2.5
設備操業度	-15.0	-15.0	-30.0	-20.0	-30.0	-30.0	-20.0	-20.0	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-20.0	15.0
雇用人員	-5.0	-5.0	-2.5	-5.0	-5.0	-5.0	0.0	-10.0	-5.0	-7.5	-5.0	-7.5	-5.0	2.5
業界景況	-22.5	-22.5	-22.5	-25.0	-30.0	-20.0	-25.0	-27.5	-30.0	-32.5	-37.5	-32.5	-20.0	12.5

(注1) 「D I」はデیفエーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



- ◆ 売上高
- 販売価格
- 取引条件
- × 収益状況
- ＊ 資金繰り
- 設備操業度
- ⊥ 雇用人員
- 業界景況

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりが、経営を圧迫する状態が続いている。 今年の秋蒔きの原料野菜栽培において、例年に見られないような高温、乾燥の影響により、生育への影響が懸念されている。また、食料品が高騰する中、漬物においても同様に値上げの必要にせまられている。
	醤油味噌	9月も記録的猛暑の継続で厳しい残暑だった。毎年秋からしょうゆの仕込みが始まるが、温暖化の影響で秋の始まりが遅く、仕込みの開始が遅れる可能性がある。10月1日は「醤油の日」と定められており、毎年日本醤油協会主催の【醤油の日の集い】が東京で開催される。その中で、今年度の「全国醤油品評会」受賞者発表・表彰が行われた。全国で5社選ばれる農林水産大臣賞を当組合の組合員1社が受賞するという嬉しいニュースがあった。今後も三重県産醤油のPRIに組合として取り組んでいきたい。
	他に分類されない食料品 製造業	夏祭りイベントに続き秋もいろいろな催しを計画している。値上げにもかかわらず市場は活発である。人件費の高騰による価格転嫁の重要性は課題であると思っている。
	製麺	東海ブロック役員会（愛知・岐阜・三重）が開催された。東海ブロックでは、毎年、年1回の研修会が11月に開催される。今年は三重県が担当で講師の選定を行い、「おにぎりの桃太郎」の会長が講師をする。また、全国製麺協同組合連合会ではラーメン品評会があり、全国より70店の国産小麦を使用したラーメンが展覧された。10月にラーメン産業界でも70店の商品が展覧される。
繊維工業	テントシート	原材料価格の度重なる値上がりに価格転嫁がしづらい現況にある。
木材・木製品	木材	木造住宅の需要停滞が長引き国産材、外材製品共に構造材の販売に勢いがなく、価格転嫁も進まない。
製 造 業	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。従業員の確保が困難である。
	紙・紙加工品	古紙
印刷	印刷	10月11日（金）に発売となる三重県印刷工業組合が製作・販売をする三重県民手帳2025年版を、9月19日に三重県庁にて知事会見で発売について発表された。発売に伴い、当組合では三重県に発売当日に県庁ロビーで販売活動を行いたいと要望をしていたが、それも併せて許可された。また県外での販売において、東京三重テラスで昨年より指定管理者変更に伴い、同施設にて取扱方法の変更から販売することを諦めたが、今回、管理する雇用経済部に取り扱えるようお願いしたところ、問題となっていた部分について見直され今回販売することができるようになった。
窯業・土石製品	伊賀焼	組合員はみな忙しくなってきたようだが、原料、光熱費を価格に転嫁できていない状況にある業者が多いように感じる。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、総じて増加傾向となっている。従来の自動車関係の受注のほか、EV関連の受注が増加しており、引き続き堅調な状況が期待できる。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
一般機器	四日市市	引き合いは、昨年に比べて停滞した状況が続いており、短納期の需要に頼っているのが現状である。組合員の状況を見ても、なかなか状況の改善は見られないと感じる。 電気料金の値上げ、最低賃金のアップによるコストアップ分を価格転嫁していくことが今後の課題となりそうだ。また中東情勢の悪化も今後の経済への影響が気になってくる。	
	津市	EV関連の動きが鈍く、受注は昨年に比べると減少傾向、売上が上がらないのに原材料や賃金の高騰で悪循環となっている。長期動向もあまり期待できないため我慢するしかない状態である。	
	伊勢市	自動車業界の厳しい状況は続いている。設備投資の意欲は低く、工作機械も悪い。新しい政権になり、期待したいところではあるが大きくは変わらないと思う。春先に予想したとおり年内はこの状態が続くと思う。	
電気機器	鳥羽市	上期9月までの業績は昨年比25%ダウンで推移した。電気機械部品は10%ダウンであったが、半導体関連需要率は80%ダウンになり期末に期待したい。	
輸送機器	伊勢市	物量減少継続で売上も昨年比減少となった。	
非製造業	青果	〔野菜前半〕野菜は夏の暑さや台風の影響で入荷が減った品目が多く、特にトマト、ミニトマト、キュウリ、ナス他にもニンジン、レタスも高値が続いているが、北海道産玉葱・ジャガイモは安定して入荷しており安値である。長野産、群馬産のキャベツは入荷が増え価格も安定している。〔後半〕野菜は全体的に品薄だが、北海道産たまねぎ、じゃがいも、長野産、富山産の白ネギ、長野産キノコ類もお買得である。鹿児島、徳島、茨城産の新物のさつまいもの入荷が増えお手頃価格になっている。北海道・青森産の秋掘りゴボウの入荷が始まり、やわらかくきんぴらにピッタリ。レタス、キャベツは入荷が少なく高値になっている。トマト、ミニトマトは高値が続いている。 果物は、入荷は例年並みである。リンゴは長野産青森産の入荷量が増え、安定している。シャインマスカットは山梨産がピークになり、長野産が始まり、値段もやや安値になった。梨は長野産の「幸水」から「豊水」に切り替わり入荷が増えている。和歌山県産種なし柿、県内産極わせみかんの入荷が始まる全体的に入荷が少なめになっている。リンゴは青森産の「つがる」がピークでお買得になっている。梨は伊賀産が終盤になってきた。長野産秋月、にいがた・豊水と味も良く食べごろである。シャインマスカットは山梨、長野産とも今が一番手が届きやすい価格になっている。県内産極わせみかんは味は最高である。	
	小売業	自転車	国内の景気は全体として穏やかな回復を続けていると言われるが、景気減速の兆候が徐々に表れ、その見通しは不透明さを増している。我々業界においてしばらく商品の調達が滞っていたが、ここに来て在庫過多の状態となりながらも為替変動の陰で商品価格の値上がりはさらに続く予想である。これに伴い一部ショップでは価格転嫁をしたものの消費者の買い控え等内需の柱である個人消費、いわゆる顧客の財布のひもは固いようである。よって、ますます売上は減少となり全ての値上げは心苦しいなどの声が上がった。組合活動として被災された能登地方集中豪雨を含む石川県への第2次義援金の募集を始めた。
	電器	猛暑も少し落ち着いて来たように思うが、9月もまだまだ気温が高いのでエアコンの需要もまだ少し続いているようだ。他の商品の売れ行きなどは目立たない感じだが、秋に向かって人の動きや消費が増えると思うので家電品をはじめとする各サービスの提案と提供が求められる。	
	石油	今のSS業界の問題は、激変緩和の補助金がどうなっていくか。政府は年内限りで補助金をやめると言っている。3カ月間で補助金はなくなるのではないかと。そうすると1カ月でL当たり4円近く仕切り価格アップが予想され、今後我々はお客様に転嫁をしなくてはならなくなる。現在、市況には大きな変化がないが燃料需要は減っているため、もう少し市況も底上げしないと我々の生活が豊かにならない。	
	スポーツ	本組合では9月26日に第24回通常総会を開催した。グラウンドに引くラインパウダーの販売について主軸で販売してきた商品とは違う種類のラインパウダーの拡販について意見を交わした。	
商店街	熊野市	夏場には少なかったインバウンド客が、この時期になり徐々に増え始めたようだ。今年は熊野古道世界遺産登録20周年となり、来月にはこの地方でも関連イベントが始まる予定である。インバウンド集客を意識した商店街とのタイアップイベントも予定されており、集荷に期待するところでもある。	
サービス業	旅館	今月は3連休が2回あったものの客足は伸びなかった。特にコロナ時には落ち込みが少なかった高い料金の施設の集客が落ちているのは、海外旅行が可能となったため、アウトバウンドしたのも原因の一つと言われている。全体では諸物価高騰による消費の落ち込みが大きく影響しているように思う。対前年同月比100~110%、2019年同月比60%程度程のようである。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	警備	例年になく猛暑で仕事量が減り、猛暑の中、従業員に無理をさせられず、休みを多くした分売上高が減少した。
建設業	総合工事業	8月末時点の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月とほぼ変わらない状況であった。国、市町発注工事においては前月同様、前年度比で増加傾向となっている。
	内装工事業	9月も対前年同月比でマイナスとなった。7月以降あまりよくない流れとなっている。
	水道工事業 (亀山市)	亀山市からの業務委託については、9月で前期が終了した。量水器の取替えについては前年より今年取替え個数が多いため、金額は増収となる見込みである。漏水については前年同期と比べると減少となるが土木工事等の働き方の労働時間で考ええると夜間の出勤が少なくなり、時間外労働としては良いと思われる。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	9月18日に地域特産めん研究部会を開催した。出席者数は6名であった。今後に向け、伊勢うどんのブランドに対しての各組合員の商品アイテムの確認と伊勢うどんを販売している事業所の商品アイテムを確認している状況である。
一般機器	四日市市	物価上昇、賃金アップ、人員不足と事業環境は厳しく、業界全体で活況な業種が少ないように感じる。中小企業の今後の経営環境が改善されるよう支援をよろしくお願ひしたい。
サービス業	旅館	8月の南海トラフ。台風10号によるキャンセル数を県観光部では調査しているようだが、秋のシーズンの予約も伸びていないことから、一日も早く需要喚起策を実施していただきたい。